

あなたの声を……

第29号
2008年2月

こうら議会だより

発行 / 〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町議会 TEL0749-38-5060 FAX0749-38-3421 編集 / 議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.koua-town.jp/>



美味しそうなイチゴ 甲良の特産品になればいいネ

◎議会報告・審議内容.....	2
◎決算審査意見書.....	3
◎一般質問.....	4
◎議長・副議長挨拶.....	6
◎議会構成.....	6
◎議員紹介.....	7
◎出前ひろば.....	8
◎議会日誌.....	8



春を待つ福寿草

保健福祉センター内 温水プール・香良の湯を指定管理者に!! 新たに二つの条例が制定される

平成19年12月定例議会は、12月12日（木）から14日（金）までの3日間の会期で開かれた。今回は承認1件、議案13件、意見書1件、その他2件が提出され、審議の結果原案どおり承認、可決、決定された。

なお、12日の夜間議会には一般質問を2人が行った。

審議内容

承認（1件）

1、使用料徴収条例の一部改正

議案（13件）

- 1、一般会計補正予算3号
- 2、一般会計補正予算4号（別掲）
- 3、下水道事業特別会計補正予算
- 補正額 4,097千円
- 前年度決算確定の余剰
- 「条例の一部改正」
- 4、職員の育児休業
- 5、職員の勤務時間休暇

6、職員の給与
以上少子化対策、育児と仕事の両立が可能とな

- 8、使用料徴収条例別表（3） 保健福祉センター区分を新設
- 9、議会委員会条例 常任委員会の定数変更
- 10、職員給与に関する官 民格差是正若年層引上
- 「条例制定」 3件

- 11、職員の自己啓発等休業
- 12、温泉プール設置
- 13、香良の湯設置等

議会提案説明（要旨）

（行政報告） 山崎町長

本日、平成19年12月甲良町議会定例会を招集いたしましたところ、大変お忙しいところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。提案説明に先立ち、若干の行政報告をいたします。

まず、一点目は、本町の重点施策である農林振興・農村活性化をめざした「ふるさと交流村構想」であります。本年度からの「世代をつなぐ農村環境まるごと保全向上対策」は景観造りと水質浄化など住民参加のもとに活動が展開されています。また環境こだわり農業を前

進させる有機野菜の栽培実験も始まっています。これらの状況を補完する直売施設等交流拠点の整備について、「農山漁村活性化プロジェクト交付金事業」の採択支援を県当局に要望しています。

金屋地先の拠点施設用地については、順調に地権者との交渉が進み過日全員の契約調印が出来ましたことをご報告いたしますとともに仮造成へと進めて行きたいと考えております。

（以下新年度の予算を取り巻く情勢、本日の提案説明は省略）

審議内容の討論

一般会計補正予算

賛成意見

老人福祉対策等に550万円、農業振興費に476万円が配分され、又塵芥処理費については広域行政の流れの中で参画することは当然である。

反対意見

まず基本姿勢の観点から、町民の暮らしや農業応援など、今日まで指摘してきた施策の検討がない。ふるさと交流村も構想の段階であったものが、用地買収に進んだ。総合的に判断して反対討論とする。

甲良町保健福祉センター関連「指定管理者」

賛成意見

住民サービスの公平で効率的な運営をする自治法の趣旨であり、職員の行政能力の補完、今後労働市場の逼迫から早く決断して、制度を正しく運用することが大切。指定管理者からの運営報告をしっかりと活用する。

反対意見

指定管理者に移行しても町の義務的負担が軽くなるとは考えられない。赤字になったときは利用料の引き上げか、旨みは指定管理者、赤字は町の負担となる。一方で道の駅に1億数千万円支出する、歪んだ理不尽な改悪

湖東地域一般廃棄物処理広域化計画 事業促進表面化する

発足年月

平成13年6月27日

構成団体

県、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

協議会での合意事項

- 1、一般廃棄物広域化計画は1市4町で進める。
- 2、新ゴミ処理施設建設の

候補地として1力所を
選定

3、その他4項目

進捗状況

候補地予定
彦根市石寺地区
調査費等予算計上
186万円（甲良町）

「新たな財政構造改革プログラム」を県が発表!!

市町は悲鳴!

市町4団体は、緊急要望書と知事に提出
当町議会も全会一致で「意見書」を提出

「新たな財政構造改革プログラム」に関する意見書（要約）

滋賀県におかれては、来年度以降に予想されるこれまで以上の財源不足に対応し、自立型の県政経営を実現するため、「新たな財政構造改革プログラム」を策定された。行政組織のスリム化や新たな行政システムへの変革、さらには行政サービスの再構築などを内容とする改革の必要性は、十分に認識しているところである。

しかしながら、同プログラムにおける市町への補助金の見直しについては、地方自治体にとっての重要課題である少子高齢化や環境問題などへの対策として、これまで県と市町が築き上げてきた信頼関係に基づいて、それぞれの役割分担を決定し、継続して県民福祉の向上のために行ってきた成果を、何ら協議のないまま一方的に補助率を削減し、補助対象を縮小しようとするもので、その影響は市町の財政や県民生活にとってあまりにも大きく、極めて遺憾な措置と言わざるを得ない。

また、同プログラムの方針に示す、県と市町が対等のパートナーとして連携、協力する必要があるという主旨からも逸脱しており再考を求めるものである。

ついでには、本町財政の健全化と県民生活の安定を図るため、「新たな財政構造改革プログラム」の策定にあたって、下記の事項について特段の配慮をされるよう強く要請する。

- 記
 - 1. 市町に対する補助金の見直しについては、県と市町との協議を重ね、市町の理解のもと、実施すること。
 - 2. 県民生活に直接、影響が予想される補助金の見直しについては、県民に向けて県としての説明責任を明確に果たすこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年12月14日

滋賀県知事

様

甲良町議会議長 北川 豊 昭

県が示す「財政収支改善目標」

区 分		20年度	21年度	22年度
一般財源不足額（税等）		400億円	460億円	450億円
対 応	事業費削減	140億円	150億円	160億円
	県 債	90億円	90億円	100億円
	そ の 他	170億円	220億円	190億円

（県の）事業見直し 3年間で10億3千5百万円を削減

見直し事業名	08年度から 3年間の削減額
市町振興総合補助金	3億2,700万円
山村辺地等活性化事業補助金	3,500万円
安全なまちづくり補助金	500万円
二ホンジカ広域一斉駆除対象事業	600万円
竹生島カワウ対策事業	450万円
国民健康保険給付対策費補助	5,730万円
障害者自立支援法における 新体系サービス移行	2億1,030万円
利用しやすい保育所づくり推進事業	1億850万円
ファミリー・サポート・センター推進事業	1,600万円 （廃止）
近江米品質向上実践事業費補助金	1,920万円 （廃止）
地方バス路線維持費補助金	6,210万円
都市計画事業費補助	2億600万円
指定文化財保存修理等補助金	3,200万円

意見書（1件）

Q & A 一般質問 (要旨)

北川孫之丞議員

20年度の予算編成は マイナズ財政にならないよう 必死で努力

Q 20年度の予算の検討作業にはいつておられる事と思いますが、地方交付税、県の支出金等について厳しいことを言われており県では、20年度400億円、21年度460億円、22年度450億円足らない。本町においても、20・21で2億5000万円の財源不足が生じるとの説明がありましたが、来年度の予算方針はどのように考えておられるか。

A 総務主監

新年度の予算編成であります。県の財源不足の総額の400億円等々は



早くに表明されておりましたが、公式には11月末に町長へ、実務レベルで正式に各部門に与える影響の内容が示され、市町への影響は総額で33億円のマイナズ影響とのことである。

今、このことについては議会と町を挙げて、どう圧縮に取り組むかという取り組みの途中であります。

財政改革プログラムも本町独自でつくり、マイナズ財政にならないように必死でやってきましたので、今後その方針で変わりはありません。

新たな県のマイナズ分については予算査定の中どんな影響があるか、額を確定しながら検討してまいります。

Q 重点的な予算方針は

持つておられるのか。

A 総務主監

重点事業は、下水道がほぼ完了に向かい先が見通せました。今後は、収入財源が非常に乏しいわけで、投資予算については必要最小限に抑えて、行政経費については切り詰める部分は切り詰める。

町の重点施策として「ふるさと交流村」等々については、今後、重点として取り組みを強化していきたいと思っている。

公園の管理体制は 売却に向けて交渉中。

Q 北落工業団地に隣接してある塚原古墳公園の管理体制はどうなっているのか。

A 産業振興主監

約2、300㎡の公園ですが、通常管理としてはシルバー人材センターに除草委託をし、19年度は春に1回作業をして頂いた。

町の方針としては、文化財の調査を済ませ書類管理を致し、自由に使用可能な土地にし有効活用可能な状況として、その土地の隣接企業への売却交渉を進めており単価交渉に現在入っている状況です。

安心 安全なまちづくりは

県、湖東振興局へ要望中

Q 長寺地区内の交差点の改善について、県との交渉経過は。

A 建設水道主監

湖東振興局もいろいろな問題を抱えており、19年度中にどういう方向で整備していくかという方針を出しほしい、信号機設置要望は地元からも出ている問題でありますので、地元とも最終協議を重ねて方向性を出して行きたいと、局へお願いしている。

Q Kモール店前の信号機設置要望に対するその後の経過は。

A 建設水道主監

まず、歩道等の改良をしていかなければならぬ

理を致し、自由に使用可能な土地にし有効活用可能な状況として、その土地の隣接企業への売却交渉を進めており単価交渉に現在入っている状況です。

西澤伸明議員

議決なしの道の駅用地買収 ―住民合意ない証

Q 甲良ふるさと交流村研究会発行のパンフレットでは、コンサルのキャッチコピーはあるが、肝心の農業生産、それを支える住民の共同の基礎力について、実現に向けて何ら具体案がない。農業振興がおろそかになった原因、私は同和対策最優先、そのもとで運動団体言いなりの体質、行政の主体が確立していなかったと考える。独自展開が弱かった根本を明らかにしなければ、本当の農業振興に立ち行かない。

A 産業振興主監

特産品等に対する施策に関して十分、重点施策として取り組めていなかった。同対事業はそれなりの組織で別途すめた。全体農政についての助成を充



実し、他町と比べても、転作関係は、甲良の方は決して劣っていない。個人的な特徴ある農政の推進施策はちよつと弱かったところがあるので、今年度から特に力を入れて推進する状況だ。

Q これからという段階なのに用地買収は完了した。議会に予算計上されていないのになぜか。

A 産業振興主監

事業の円滑な執行を図る目的で設けられている甲良町土地開発基金を活用した。この先行買収にあたっては、国・県での事業採択協議に当たり、用地協力の状況の明確化、用地関係者からも、次年度の植えつけの準備に入る部分も迎えていた。そのことよりも先行買収により、20年度に湖東地域振興局管内で出る大きな優良残土による造成計画も進めることができる。年々予算が厳しくなり、確保できない状況の中、先行で土地を確保することによって先行協議が可能に

なり、具体的に進められ、造成工事を行うことにより5、000万近い軽減、他にもいろいろと事業費軽減の対策から事前買収の協議を行ない、調印の運びになった。

Q これは町民と議会、出し抜きじゃないですか。計画を聞いたのは、一番新しい説明で8月2日、まだ構想の段階です。産業主監は、この資料は町民に説明しないでください、誤解が生じるとまです。そのような議

会への説明にもかかわらず先行取得、しかも予算計上しない基金から取り崩すという点では、これは既成事実づくりと理解されても仕方がない。

A 町長

土地開発基金は、公用もしくは公共用に寄与する土地または公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより事業の円滑な執行を図るためのもの。議会やら住民を出し抜いたのではないかと話だが、平成19年3月議会でも承認され国土利用計画の中でも位置づけ、農振計画の確定、全集落での住民説明、8月2日

の議会全協説明などを進めており、ぜひご理解をいただきたい。

Q 経済アクセスや、全体の構想、それから、どういう計画であるかについて説明がまだない構想の段階と言っていた。責任ある運営主体がどうなのか。この構想の出発が間違っていることは以前も指摘した。加えて町民側、農業者側の責任ある推進体制が整わない中で進めている点が問題だ。道の駅・交流村構想は農業振興が主なテーマと言われているのに、11月に開かれた農業委員会でもこの問題が提起されていないと聞いている。この課題は、行政だけで実現できると思っているのか。少なくとも町民とともに

つくり出す努力中とは到底言えない状況。聞こえてくるのは「できても甲良の魅力ある産物が現在はない」「土地さえ売ればいい」と思っているのか。今、暮らしや農業が大変なとき、町は熱中する方向を間違っている。など。加えて、尼子駅の農産物直販人権センター構想も「農産物直販」がついて

ていたが、構想倒れ。部落解放中央広域センターも運営趣旨はパンフレットと比べると共通点がある。これも脱税などが発覚し、十数年で倒れた。カモ公園は休業と、当時センター長が答弁したが、実態を隠したもので、実態の倒産ではないか。今回の出発も第一段階から道の駅ありきを改めて、農業振興を本気でサポートする困っている農業問題の実情に手当てをする、このことの施策に重点を据える転換を図らなければ、同じ轍を踏むことになる。設置に至るまでの住民側の体制はどうするのか。

A 産業振興主監

運営団体の方にも参画を要請し、今後計画確定、採択に並行して詰めた。い。

またこれからの段階なのに土地の確保、財政支出だけは確実にしていく。発想が逆転している。

【その他の質問】

●小学校卒業までの医療費無料化を求め財政規模

お詫びと訂正

こうら議会だより第28号の3ページ「平成18年度普通会計決算の構成図」の中に下記の通り誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

【歳出決算(性質別)】	
扶助費	H18年度決算額
誤	188,474(千円)
正	183,474(千円)

甲良町新議会議員紹介

生年月日
党派
住所
当選回数

山田 壽一 議員



昭和31年11月10日生
無所属
長寺599番地5
2回

西澤 伸明 議員



昭和23年5月15日生
日本共産党
在土463番地
3回

藤堂 与三郎 議員



昭和15年1月29日生
無所属
下之郷1589番地
3回

北川 豊昭 議員



昭和20年9月28日生
無所属
池寺1488番地1
4回

建部 孝夫 議員



昭和22年3月20日生
無所属
呉竹186番地
1回

金澤 博 議員



昭和21年9月5日生
無所属
尼子756番地6
1回

山崎 昭次 議員



昭和17年7月11日生
無所属
法養寺350番地1
1回

藤堂 一彦 議員



昭和16年5月11日生
無所属
尼子1405番地
1回

丸山 恵二 議員



昭和41年5月8日生
無所属
長寺535番地
1回

宮寄 光一 議員



昭和37年3月24日生
無所属
法養寺428番地5
1回

濱野 圭市 議員



昭和32年3月27日生
無所属
小川原630番地
1回

木村 修 議員



昭和24年10月29日生
無所属
池寺681番地
1回目

新議長・副議長ごあいさつ

議長 藤堂与三郎

このたびの臨時議会におきまして不肖私、議員皆様がたのご推挙によりまして、甲良町議会議長の要職に就かせていただくことになりました。もとより浅学非才の私に、このような機会を与えていただきましては、まことに身に余る光栄と衷心よりお礼申し上げますと共に、責任の重さを痛感しております。

副議長 山田 壽一

一言ご挨拶を申し上げます。このたび、議員の皆様方のご推挙をいただき、副議長という大役を仰せつかりました。先輩議員のおられますが、浅学非才な私には身に余る光栄と責任の重さを痛感いたしております。

これから、決意を新たに、町のさらなる発展、住民の福祉、議会の活性・充実のため、微力ではありますが、「粉骨砕身」尽くす所存でございます。本心に微力ではありますが、藤堂与三郎議長とともに精神誠意努めますので、皆様方の御指導のほどよろしくお願いいたします。言葉足らずではございますけれども、副議長就任のあいさつとさせていただきます。

甲良町議会議員役職名簿

(平成20年2月5日現在)

【議会構成】

議 長	藤 堂 与 三 郎		副 議 長		山 田 壽 一		
総務民生常任委員会	建 部 孝 夫		○ 山 崎 昭 次		藤 堂 与 三 郎		
	北 川 豊 昭		西 澤 伸 明		金 澤 博		
産 業 建 設 文 教 常 任 委 員 会	濱 野 圭 市		○ 藤 堂 一 彦		山 田 壽 一		
	木 村 修		宮 寄 光 一		丸 山 恵 二		
予算・決算常任委員会	北 川 豊 昭		○ 金 澤 博		西 澤 伸 明		山 田 壽 一
	藤 堂 一 彦		山 崎 昭 次		建 部 孝 夫		木 村 修
	濱 野 圭 市		宮 寄 光 一		丸 山 恵 二		
議 会 運 営 委 員 会	山 田 壽 一	○ 北 川 豊 昭	藤 堂 一 彦		建 部 孝 夫		濱 野 圭 市
議 会 広 報 特 別 委 員 会	建 部 孝 夫	○ 西 澤 伸 明	北 川 豊 昭		山 田 壽 一		濱 野 圭 市
議 会 選 出 監 査 委 員	建 部 孝 夫						

上欄の 印は委員長、○印は副委員長

【一部事務組合議会議員】

彦根市・犬上郡営林組合	藤 堂 与 三 郎		北 川 豊 昭	
大 滝 山 林 組 合	北 川 豊 昭	山 田 壽 一	藤 堂 一 彦	金 澤 博
湖 東 広 域 衛 生 管 理 組 合	山 崎 昭 次		木 村 修	
彦根犬上広域行政組合	山 田 壽 一		建 部 孝 夫	

【委員会等委員】

彦根休日急病診療所運営委員会	建 部 孝 夫			
営 林 委 員 会	藤 堂 一 彦	山 崎 昭 次	宮 寄 光 一	丸 山 恵 二
国民健康保健運営協議会	建 部 孝 夫	山 崎 昭 次	北 川 豊 昭	
介護保険運営協議会	建 部 孝 夫	山 崎 昭 次	北 川 豊 昭	
学校給食センター運営委員会	濱 野 圭 市		藤 堂 一 彦	
水 道 事 業 運 営 委 員 会	藤 堂 与 三 郎		山 田 壽 一	濱 野 圭 市
公 共 下 水 道 事 業 審 議 会	藤 堂 与 三 郎		山 田 壽 一	濱 野 圭 市



下之郷、北落、尼子、金屋に引き続いて、横関・法養寺で「出前ひろば」を開催しました。最初の4字にくらべ、対象の未就園児数が少ないため、実施しても参加者があるか…と心配されていた区長さん。しかし、他字での「出前ひろば」の様子について聞かれたお母さん方からの「ぜひ、うちの字でも!」という熱心な声に、区長さんと相談させていただいて、近隣の字同士で合同で行うことに。

当日は誘い合って、両字たくさんの方が参加してくださり、賑やかで楽しいひろばとなりました。同字はもちろん、身近な地域同士のつながりも子どもたちが健やかに育っていく、また育てていくためには大切な事なのだと思えて感じた時間でした。これからも、子育て支援センターでは、地域での子育て応援が出来たら嬉しいと思っています。どうぞよろしく御願います。

支援センター

所長 大橋美智子

地域の中で「子育て支援の輪」を・・・
**横関、法養寺合同で
出前ひろばを開催!**
子育て支援センター



議会日誌

11月

- 4日 こうら人権フェスタ
- 11日 第27回全国豊かな海づくり大会
- 12日 第31回町議会広報研修会
- 19～20日 地方自治法施行60周年記念式典
- 20日 彦根休日急病運営委員会
- 22日 例月出納検査・定期監査
- 21日 彦愛犬議長会・犬上郡議長会合同議員研修会
- 22日 滋賀県町村監査委員研修会
- 24日 犬上・彦根地域安全活動・暴力追放推進大会
- 29日 国会陳情(愛知郡・犬上郡議長会)
- 30～12月1日 第51回滋賀県町村議会議長全国大会

- 7日 大滝山林組合古例祭
- 12日 12月定例議会(開会)
議会運営委員会
- 14日 12月定例議会(閉会)
広報特別委員会
- 19日 例月出納検査・定期監査
- 21日 彦根市・犬上郡山林組合臨時議会
- 25日 彦根犬上広域行政組合臨時議会
- 27日 広報特別委員会

1月

- 4日 部落解放同盟滋賀県連合会2008新春旗びらき
- 7日 消防出初式
- 10日 広報特別委員会
- 13日 新成人を祝う集い
- 15日 例月出納検査・定期監査
- 29日 広報特別委員会

12月

- 3日 議会運営委員会
- 5日 福島県南会津町議会視察受入れ
第4回滋賀県町村議会議長会理事会



後列左から、奥山、藤堂、北川、孫
前列左から、奥山、藤堂、北川、孫

私達5人のメンバーが今日まで4年間の編集を担いました。議会の立場でありのままだを「お伝えする、そして品格も添えて。ご満足頂けたでしょうか? 次回からの新メンバーに期待を込めて、どうぞよろしく。

ありがとうございました

奥山 豊

寒中お見舞い申し上げます。皆様方のご健勝を心よりお慶び申し上げます。2007年を表す漢字として「偽」の一字が選ばれましたが実目的を得た語であったと思います。社会秩序・道義を軽んじ「自分がよければ他人はどうでも良い、邪魔をするものは消す」というような怖い社会になってきました。今年こそは信頼のおける社会・人間関係に戻って欲しいものです。新年早々に議会議員の改選があり、勇退された方には大変ご苦勞様でした。住民の負託を受け新・再選された方には充分ご理解され、ますますのご活躍を期待いたします。昨年は初の試みとして夜間議会を開催しそれなりの評価をいただきました。これからも住民側に立った議会づくりと広報活動が望まれます。

せせらぎ

00

